



「自主・実践・友愛」

令和8年5月15日

第8号

# 野っ中 だより



## プロジェクトR

2年生で SNS やスマホをより理解する勉強会が開催されました。この授業は「ののいちっ子を育てる市民会議」のみなさんが企画・運営をしてくださり、野々市市の両中学2年生にあらためてデジタル機器の使用について考えを深めてもらい、各自に応じたルールづくりをしてもらおうという趣旨で行われました。講師は松島恒志さんで長野県の公立小学校での勤務経験を活かしながら、松本大学の専門員として「ネットいじめ」や「ネット依存」の調査研究をし「子どもの電子メディアとの上手なつきあいかた」等のご講演や学習会を開催されています。今回は3時限を使って、①全体での学習、②その学習から感じたことをクラスごとに話し合い、③クラスで出た意見等を全体で共有しました。子供たちは、自分事として真剣に受け止め、様々な意見交換を行って自分の考えを広げていました。これから、ますます付き合いが深くなるであろうネット社会の歩き方について、考えるととても良い勉強会でした。



## SOS 出し方講座

1年生を対象として、様々な困難やストレスへの対処方法を身に付け、適切に SOS を出せるようにすることを目的とした講演でした。石川県こころの健康センターの角田所長さんのお話で、生徒が自己肯定感を高め、自分や友達、まわりの人を大切にすること、信頼できる大人に SOS を出すこと、友達や周りの SOS に気付くことの大切さを学びました。

角田所長さんのお話の中では、実例をもとにした「命の大切さ」に心を揺り動かされ、ある統計では「相談する相手」は【友達 82%、家族 51%、先生 32% (複数回答あり)】ということを知りました。また、相手を傷つけないために「自分の言いたいこと」を6秒間我慢することも教えていただきました。そして、自分の得意なことや好きなことをさらに伸ばして、「自分を褒める」ことや「自分へのご褒美」も大切にすることで、自己肯定感を高めることが大切だと聞きました。学年担当の先生からは、今回の講座を通して、3つの玉をどのようにして磨くのかを問いかけられ、個々の考えをさらに深めていたように感じました。

Good Job!

昨日までに、全学年の校外学習が終了しました。どの学年もこれまでに身に付けてきたことを、しっかりと発揮して充実した学習となりました。その中で、気持ちの伝わるあいさつがよく出来ていたと聞きました。添乗員さんや運転手さん、様々な施設の方々に、自分の気持ちを自分の表現の仕方でも伝えていたそうです。みつけ玉や親切玉を磨けたこと、とても嬉しく思います。